

[I]世帯員について

1 ページの経営組織が「個人」の場合に記入します。

赤枠内は経営体を代表する方が鉛筆で記入してください。

1 満15歳以上の世帯員の就業状況(過去1年間(平成14年11月～15年10月))について記入してください。

「世帯の経済的中心者」とは、あなたの家や生計を支えている人をいいます。
したがって、世帯の戸籍筆頭者や漁業従事者の中の中心的な働き手であるとは限りません。

「共同経営に出資従事」とは、二人以上（法人を含めます。）が漁船、漁網等の主要な生産手段を共有し、漁業経営を共同で行ったもので、資本及び現物を出資し、海上、陸上作業を問わず、その漁業に従事している人が該当します。

名前 世帯員とは、次のような人をいいます。 1 住居と生計を共にしている人。 2 出稼ぎなどで家を離れているが、不在期間が1年以内の人。 3 住み込みの雇い人で、1年以上経過した人又は経過見込みの人。 4 満15歳以上の世帯員が9人以上いる場合は、補助票に記入してください。	世帯員番号	平成15年11月1日現在の満年齢	性別		世帯の経済的中心者	本年3月に学校を卒業した人	過去1年間仕事に従事しなかった人	過去1年間に従事した仕事について															
			自営漁業 (陸上作業を含みます。)	自営農業 (販売金額が15万円以上、経営耕地面積が10アール以上又は)				その他の自営業 (年間15万円以上の売上げのある自営業)			共同経営 (陸上作業を含みます。出資従事)	漁業雇われ (陸上作業を含みます。)	漁業以外の仕事に雇われ										
								水産加工業	遊漁案内業	旅館・民宿業			その他	漁業関連施設に雇われ 常雇・臨時雇・日雇	その他 常雇・臨時雇・日雇								
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲					
世帯員の名前を記入してください		(歳)	いずれかに印		該当者に印	該当者に印	各世帯員が従事した仕事すべてに○印																
満15歳以上の世帯員	701		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12				
	702		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12				
	703		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12				
	704		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12				
	705		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12				
	706		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12				
	707		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12				
	708		1	2	1	1	1	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12				
満14歳以下の世帯員は 何人ですか。(人)																							
男	731	0	0																				
女	732	0	0																				
		2 家としての兼業種類は何ですか。 (1) 1に記入した兼業種類のうち、家としての主な兼業種類(年間収入の多いもの)について主なものの一つに○印を付けてください。																					
		751	0	0				02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12					

「**自営漁業の経営主**」とは、自営漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意志決定を行う人が該当します。

海上作業に従事した日数の数え方――実日数で数え、365日を超えることはありません。また、遊漁案内業は含めません。
日帰り操業は1日のうちに2回以上操業しても1日と数えます。
1航海が1夜の場合（夕方出航し、翌朝入港した場合）は1日とします。
2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までを通算した日数とします。

「過去1年間に従事した仕事について」で01～12に○印を付けた仕事のうち、最も従事した日数が長かった仕事について、該当する01～12のいずれかの番号を記入します。

（自営漁業の従事日数とそれ以外のすべての仕事の合計従事日数を比べ、**従事日数が長い方**を主とします。）

過去1年間に従事した仕事のうち主な仕事（従事日数の最も長かった仕事）	自営漁業とそれ以外の仕事		過去1年間に漁業に従事した人について（⑧、⑭、⑮のいずれかに○印の付いた人）										自営漁業の経営主の配偶者	自営漁業の後継者の配偶者
	自営漁業（⑧に○印の付いた人）		漁業雇用または共同経営に出資従事（⑭又は⑮に○印の付いた人）					自営漁業						
	海上作業に従事した人		陸上作業に従事した人		自営漁業の経営主		海上作業に従事した人		陸上作業に従事した人		自営漁業の後継者			
	海上作業に従事した日数	従事日数の最も長かった漁業種類	そのときの船が10トン以上	そのときの船が10トン未満	従事日数の最も長かった漁業種類	そのときの船が10トン以上	そのときの船が10トン未満	従事日数の最も長かった漁業種類	そのときの船が10トン以上	そのときの船が10トン未満	従事日数の最も長かった漁業種類	そのときの船が10トン以上		
⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	
番号を記入	いずれかに○印	日数を記入	全国漁業種類番号を記入	該当者に○印			日数を記入	全国漁業種類番号を記入	該当者に○印			該当者に○印		
	1 2			1	1	1			1	1	1	1	2	
	1 2			1	1	1			1	1	1	1	2	
	1 2			1	1	1			1	1	1	1	2	
	1 2			1	1	1			1	1	1	1	2	
	1 2			1	1	1			1	1	1	1	2	
	1 2			1	1	1			1	1	1	1	2	
	1 2			1	1	1			1	1	1	1	2	
	1 2			1	1	1			1	1	1	1	2	

(2) 家として自営漁業とそれ以外の兼業とどちらが主（年間収入が多い）ですか。

自営漁業が主

自営漁業が従

いずれかに○印

752 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2

(3) 共同経営に参加した（⑭欄に○印が付いた）世帯について

自営漁業と共同経営を合わせた収入とそれ以外の兼業を合わせた収入（過去1年間）との関係について

自営と共同経営のみ

自営と共同経営が主

自営と共同経営が従

いずれかに○印

753 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3

〔Ⅱ〕漁船について

過去1年間に漁船を使用して操業しましたか。

漁船を使用した方は1へ

1 使用した漁船の種類は何ですか。

(借りて使用した場合も含めます。)

(1 台の船外機を複数の無動力船に付けて使用した場合は、1 隻を船外機付船とし、他は無動力船としてください。)

(使用したもののすべてに○印を記入してください。)

	動力船	船外機付船	無動力船
501	0	1	2
		3	

2 過去1年間に使用した無動力船、船外機付船のうち、11月1日現在保有している漁船は何隻ですか。

(借りて保有している船も含めます。)

無 動 力 船 (隻)

502	0	0	
-----	---	---	--

船 外 機 付 船 (隻)

503	0	0	
-----	---	---	--

3 動力船について〔動力船のみ記入し、無動力船、船外機付船は記入しないでください。〕

(1) 過去1年間に使用した動力船について記入してください。

(2) 11月1日

漁 船 名 (1 漁船名は左からつめて1マスに1字ずつ記入してください。 2 8隻以上動力船を使用した場合は補助票に記入してください。)	漁 船 番 号	新トン数の適用を受けた船に○印 (小数点以下2位まで記入してください。)	11月1日現在 有の有無		主馬力数 (漁船法登録馬力) 農林馬力数	新馬力数の適用を受けた船に○印	竣工した年
			保有している	保有していない			
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
無動力船、船外機付船は記入しないでください。		小数点 (トン)	いずれかに○印				(年)
	601		1	1 2		1	
	602		1	1 2		1	
	603		1	1 2		1	
	604		1	1 2		1	
	605		1	1 2		1	
	606		1	1 2		1	
	607		1	1 2		1	

「2」に○印が付いた場合、⑥以降については記入の必要はありません。

漁 船 --- 経営体が所有又は借りている船のうち、過去 1 年間に自己の漁業生産に使用した主船及び付属船(火船、魚探船、運搬船等)について記入してください。

ただし、漁船登録を受けていても直接漁業に使用しなかった船(遊漁のみに使用、買い付け用運搬船等)は除いてください。

新トン数の適用を受けた船 --- 昭和57年 7 月18日以降に建造した船及び特定修繕(総トン数に変更を生ずる修繕)を行った船がすべて該当します。

農林馬力数 --- 漁船法により規定されている漁船登録に用いられる馬力数です。

新馬力数の適用を受けた船 --- 平成14年 4 月以降に、新たに推進機関を搭載した船が該当します。

単一操業 --- 操業した漁業種類が 1 種類の場合。

複数操業 --- 操業した漁業種類が 2 種類以上の場合。

出漁日数の数え方 --- 漁場までの往復の日数と漁場における操業日数を合計した日数です。

日帰り操業は 1 日のうちに 2 回以上操業しても 1 日と数えます。

1 航海が 1 夜の場合(夕方出航し、翌朝入港した場合)は 1 日とします。

2 夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までを通算した日数とします。

販売金額 1 位の漁業種類 --- 漁業種類番号及び主な操業種類については、漁船ごとに、操業した漁業について「漁業種類の地方名称と制度区分一覧表」を参考にして記入してください。

現在経営体が保有しているすべての動力船について記入してください。

漁利用 船状 の況		過 去 1 年 間 の 出 漁 日 数	販売金額 1 位の漁業種類について記入してください。													
			全記 国入 漁業 種類 番号 をい	乗組員数について										女 子	外 国 人	
				男 子												
単 一 操 業	複 数 操 業			15 歳 以下	30 歳 以下	40 歳 以下	50 歳 以下	60 歳 以下	65 歳 以上							
⑨		⑩	⑪	⑫												
いずれかに ○ 印		(日)		(人)												
1	2															
1	2															
1	2															
1	2															
1	2															
1	2															
1	2															

[Ⅲ] 漁業経営について

漁業種類及び漁業制度の記入に当たっては「漁業種類の地方名称と制度区分一覧表」を参考にしてください。

- 1 過去1年間に営んだ漁業種類は何ですか。
該当するものに○印を記入してください。

(雇われて従事した漁業種類は除きます。)

「活魚」とは生かして水揚げし、生きている状態で販売したものをいいます。

なお、漁業者が特に生かすための措置を講じていなくても生きている状態が通常のものとは含めないこととします。

活魚販売を行ったものに○印

底びき網	遠洋底びき網	1	0	1	0	0	0	0	0
	以西底びき網	1	0	2	0	0	0	0	0
	沖合底網	1	0	3	0	0	0	0	1
	2	2	0	4	0	0	0	0	1
	小型底網	縦びき	1	0	5	0	0	0	1
	縦びき	その他	1	0	6	0	0	0	1
	横びき	その他	1	0	7	0	0	0	1
船き	ひき回し網	1	0	8	0	0	0	0	1
び網	ひき寄せ網	1	0	9	0	0	0	0	1
地	びき網	1	1	0	0	0	0	0	1
ま	1	1	1	0	0	0	0	0	0
き	1	1	2	0	0	0	0	0	0
	1	1	3	0	0	0	0	0	0
	2	1	4	0	0	0	0	0	0
網	巾着網	1	1	5	0	0	0	0	1
ま	巾着網	2	1	6	0	0	0	0	1
き	その他	1	1	7	0	0	0	0	1
刺	さけ・ます流し網	1	1	8	0	0	0	0	0
網	かじき等流し網	1	1	9	0	0	0	0	0
敷	その他の刺網	1	2	0	0	0	0	0	1
網	さんま棒受網	1	2	1	0	0	0	0	0
	その他の敷網	1	2	2	0	0	0	0	1
大	型定置網	1	2	3	0	0	0	0	1
さ	け定置網	1	2	4	0	0	0	0	0
小	型定置網	1	2	5	0	0	0	0	1
そ	の他の網漁業	1	2	6	0	0	0	0	1
は	遠洋まぐろはえ縄	1	2	7	0	0	0	0	0
え	近海まぐろはえ縄	1	2	8	0	0	0	0	0
縄	沿岸まぐろはえ縄	1	2	9	0	0	0	0	0
	その他のはえ縄	1	3	0	0	0	0	0	0
	遠洋かつお一本釣	1	3	1	0	0	0	0	0
	近海かつお一本釣	1	3	2	0	0	0	0	0
	沿岸かつお一本釣	1	3	3	0	0	0	0	0
	遠洋いか釣	1	3	4	0	0	0	0	0
	近海いか釣	1	3	5	0	0	0	0	0
	沿岸いか釣	1	3	6	0	0	0	0	1
	さば釣	1	3	7	0	0	0	0	1
	ひき縄釣	1	3	8	0	0	0	0	1
	その他の釣	1	3	9	0	0	0	0	1
小	型捕鯨	1	4	0	0	0	0	0	0
潜	水器漁業	1	4	1	0	0	0	0	0
採	貝	1	4	2	0	0	0	0	0
採	藻	1	4	3	0	0	0	0	0
そ	の他の漁業	1	4	4	0	0	0	0	1
海	ぎんざけ養殖	1	4	5	0	0	0	0	0
面	ぶり類養殖	1	4	6	0	0	0	0	1
養	まだい養殖	1	4	7	0	0	0	0	1
殖	ひらめ養殖	1	4	8	0	0	0	0	1
	その他の魚類養殖	1	4	9	0	0	0	0	1
	ほかのがい養殖	1	5	0	0	0	0	0	0
	かき類養殖	1	5	1	0	0	0	0	0
	その他の貝類養殖	1	5	2	0	0	0	0	0
	くるまえび養殖	1	5	3	0	0	0	0	1
	ほや類養殖	1	5	4	0	0	0	0	0
	その他の水産動物類養殖	1	5	5	0	0	0	0	0
	こんぶ類養殖	1	5	6	0	0	0	0	0
	わかめ類養殖	1	5	7	0	0	0	0	0
	のり類養殖	1	5	8	0	0	0	0	0
	その他の海藻類養殖	1	5	9	0	0	0	0	0
	真珠養殖	1	6	0	0	0	0	0	0
	真珠母貝養殖	1	6	1	0	0	0	0	0

- 2 過去1年間に営んだ漁業種類の
漁業制度は何ですか。

(海面養殖のみを営んでいる漁業経営体は記入の必要はありません。)

営す販の
んべも
だて金
にの
も〇〇
の印位印

大臣許可漁業	2	0	1	0	0	1	2
知事許可漁業	2	0	2	0	0	1	2
大臣承認漁業	2	0	3	0	0	1	2
漁業権漁業	2	0	4	0	0	1	2
自由漁業	2	0	5	0	0	1	2
その他の	2	0	6	0	0	1	2

3 海面養殖業について

営んでいる養殖種類についてのみ記入してください。
海面養殖業を営んでいない場合は4へ(次ページ右上)

- (1) 魚類養殖の規模はどのくらいですか。

養殖施設面積 … 経営体の所有(借入を含む。)する総施設面積

使用面積 … 施設面積のうち、通常使用している面積(魚類を放養しない面積を除く。)

- ア 魚類養殖全体の養殖場の施設面積はいくらですか。

養殖場の施設面積	3	0	1						
使用面積	3	0	2						

- イ ぶり類養殖の養殖場の面積はいくらですか。

養殖場の施設面積	3	0	3						
使用面積	3	0	4						

- ウ まだい養殖の養殖場の面積はいくらですか。

養殖場の施設面積	3	0	5						
使用面積	3	0	6						

- エ ひらめ養殖の養殖場の面積はいくらですか。

養殖場の施設面積	3	0	7						
うち、陸上水槽の面積	3	0	8						
使用面積	3	0	9						

(2) ほたてがい養殖の養成貝数はいくらかですか。
(養殖しても1千貝に満たないものは1と記入してください。)

ア 採苗から 1年未満のもの (千貝)
3 2 1

イ 採苗から 1年以上、2年未満のもの (千貝)
3 2 2

ウ 採苗から 2年以上のもの (千貝)
3 2 3

(3) かき類養殖の規模はどのくらいですか。
(ア～ウのうち、該当する養殖方法だけ記入してください。)

ア いかだ垂下式、簡易垂下式の場合 (台)
台数は ----- 3 3 1

1台の平均面積は ----- (m²)
3 3 2

イ はえ縄式の場合 (m)
幹縄の長さは ----- 3 3 3

幹縄とは、海面に水平に張って垂下連を支える縄(ロープ)をいいます。

ウ 地まき式、そだひび式の場合 (m²)
養殖場の面積は 3 3 4

(4) わかめ類養殖の規模はどのくらいですか。
(ア、イの両方に必ず記入してください。)

ア 幹縄の長さ ----- 3 4 1

幹縄とは、海面又は海中に水平に張って枝縄や親縄を支える縄(ロープ)をいいます。

イ 種糸を巻き付けたりはさみ込んだりした縄の長さ (m)
3 4 2

(5) のり類養殖の規模はどのくらいですか。
養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。

養殖施設の面積 (m²)
3 5 1

(どちらか一方に記入し、両方には記入しません。)

面積を表す単位は何か。
(例 柵、小間、間など)

この単位で数えた施設はいくつですか。
3 5 2

この単位の1単位を平方メートルに換算した面積はどのくらいですか。(m²)
3 5 3

(6) 真珠養殖の規模はどのくらいですか。(台)

いかだ台数 ----- 3 6 1

(籠 100つりを1台としてください。)

(7) 真珠母貝養殖の規模はどのくらいですか。(台)

いかだ台数 ----- 3 7 1

(籠 100つりを1台としてください。)

4 漁業の従事者数について

(1) 11月1日現在の漁業の海上作業の従事者数は何人ですか。(人)

計	4 0 1				
家 族	4 0 2				
雇 用 者 計	4 0 3				
同 一 市 町 村	4 0 4				
そ の 他 の 県 内	4 0 5				
県 外	4 0 6				
う ち 、 外 国 人	4 0 7				

(2) 過去1年間に「漁業の海上作業に従事した人」が最も多かった時期の人数は何人ですか。(人)

計	4 1 1				
家 族	4 1 2				
男	4 1 2				
女	4 1 3				
雇 用 者	4 1 4				
男	4 1 4				
女	4 1 5				

(3) 過去1年間に「漁業の陸上作業のみに従事した人」が最も多かった時期の人数は何人ですか。(人)

計	4 2 1				
家 族	4 2 2				
男	4 2 2				
女	4 2 3				
雇 用 者	4 2 4				
男	4 2 4				
女	4 2 5				

5 過去1年間の漁業従事日数について

(1) 過去1年間に陸上作業も含め漁業に従事した日数は何日ですか。(日)

(365日を超えない経営体としての実日数で記入してください。)

4 3 1 0

(2) 上記のうち、海上作業に従事した日数は何日ですか。(日)

4 3 2 0

6 過去1年間の漁獲物の販売金額について

(自家で消費したものは含めません。
販売金額が1万円に満たないものは「1」、販売金額がないものは「0」と記入します。)

(1) 経営体の総販売金額はいくらですか。(円)

百 十 千 百 十 (円)
億 億 億 万 万 万 万
4 4 1

(2) 上記のうち、海面養殖の販売金額はいくらですか。(円)

百 十 千 百 十 (円)
億 億 億 万 万 万 万
4 4 2

7 過去1年間の漁獲物の出荷先について

		漁協の市場又は荷さばき所	漁協以外の卸売市場	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他の	
(出荷先すべてに○印)		451	1	2	3	4	5	6	7	8

(主なもの(出荷額の多いもの)一つに○印)

4 5 2 0 0 0 1 2 3 4 5 6 7 8

「IV」共同経営について

1 ページの経営組織が「共同経営」の場合
に記入します。

- 1 出資金について該当するものに○印を記入してください。
(現物出資は出資金に含めません。)

			出現資金なし又は	10万円未満	10万円	30万円	50万円	100万円	200万円	500万円	1,000万円	3,000万円以上
831	0	0	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10

- 2 出資者の員数を記入してください。
(現物出資者も含めます。)

(人)

832	0	0	0					
-----	---	---	---	--	--	--	--	--

- 3 漁船・漁網の所有形態について該当するものに○印を記入してください。
- (主なもの一つに○印)

					共 有	も ち よ り	借 入 れ	そ の 他
漁船	833	0	0	0	1	2	3	4
漁網	834	0	0	0	1	2	3	4

- 4 収益について該当するものに○印を記入してください。

（収益がなかった場合は、「分配」は記入しません。
分配しなかった場合は、「分配方法」は記入しません。）

		収 益 が		分 配		分 配 方 法		
		あ	な	し	し	平	出	そ
		っ	か		な		資	の
		た	っ		か		口	
			た	た	っ	等	数	他
835	0	1	2	1	2	1	2	3

〔V〕地方選定漁業種類について

地方選定漁業種類に該当がある場合に記入します。

[illegible]

秘

指定統計第67号

漁業センサス

農林水産省

様式調第2号

2003年漁業センサス
海面漁業調査

会社、官公庁・学校・試験場調査票

平成15年11月1日調査

この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収など）に使用することはありません。

会社
官公庁
学校
試験場
37

〔指標欄〕	大海区名												
	大海区	都府県 (支庁)	市区町村	漁業地区	基本調査区	客体 連番	経営 組織						
	名称					調査員 記入欄							
番号													

事業所名	
------	--

本社名	
-----	--

(該当番号を記入します。)

本所所在地	都道府県	市区町村
-------	------	------

電話番号	
------	--

記入上の留意事項

- この調査票は、会社、官公庁・学校・試験場の方が直接記入していただくようお願いします。
- 記入に当たっては、「会社、官公庁・学校・試験場調査票の記入の仕方」の注意事項及び調査票に書かれている注意事項をよく読んで記入されるようお願いします。
- 調査票の内容については、本年（平成15年）の11月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。なお、過去1年間という場合は、平成14年11月1日から平成15年10月31日までを指します。
- 調査票への記入には、シャープペンシルか鉛筆を使用してください。
- 数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

次回、お伺いしますのは 月 日 ですので、それまでに調査票の記入をお願いします。

なお、記入に当たって分からない点がありましたら、調査員におたずねください。

調査員氏名	
電話番号	

[I] 漁業経営について

漁業種類及び漁業制度の記入に当たっては「漁業種類の地方名称と制度区分一覧表」を参考にしてください。

1 過去1年間に営んだ漁業種類は何ですか。
該当するものに○印を記入してください。
(雇われて従事した漁業種類は除きます。)

「活魚」とは生かして水揚げし、生きている状態で販売したものをいいます。
なお、漁業者が特に生かすための措置を講じていなくても生きている状態が通常のものとは含めないこととします。

底	遠洋	底びき	網	1	0	0	0	0	0
	西洋	底びき	網	1	0	2	0	0	0
び	沖合	底	1	0	3	0	0	0	1
	き	網	2	0	4	0	0	0	1
き	小型	底	縦	0	5	0	0	0	1
	網	網	横	0	6	0	0	0	1
網	ひ	き	回	0	7	0	0	0	1
	ひ	き	寄	0	8	0	0	0	1
船	ひ	き	網	0	9	0	0	0	1
	ひ	き	網	1	1	0	0	0	1
ま	大	中	1	1	1	0	0	0	0
	ま	ま	1	1	2	0	0	0	0
き	中	小	1	1	3	0	0	0	0
	ま	ま	2	1	4	0	0	0	0
網	巾	着	1	1	5	0	0	0	1
	巾	着	2	1	6	0	0	0	1
刺	さ	け	・	1	7	0	0	0	0
	さ	け	・	1	8	0	0	0	0
網	そ	の	他	1	9	0	0	0	1
	そ	の	他	1	0	0	0	0	1
敷	さ	ん	ま	1	1	0	0	0	0
	さ	ん	ま	1	2	0	0	0	0
網	そ	の	他	1	2	0	0	0	1
	そ	の	他	1	3	0	0	0	1
大	さ	け	・	1	4	0	0	0	0
	さ	け	・	1	5	0	0	0	0
小	そ	の	他	1	6	0	0	0	1
	そ	の	他	1	7	0	0	0	1
は	遠	洋	ま	1	8	0	0	0	0
	遠	洋	ま	1	9	0	0	0	0
え	近	海	ま	1	0	0	0	0	0
	近	海	ま	1	1	0	0	0	0
縄	沿	岸	ま	1	2	0	0	0	0
	沿	岸	ま	1	3	0	0	0	0
釣	そ	の	他	1	4	0	0	0	0
	そ	の	他	1	5	0	0	0	0
釣	遠	洋	か	1	6	0	0	0	0
	遠	洋	か	1	7	0	0	0	0
釣	近	海	か	1	8	0	0	0	0
	近	海	か	1	9	0	0	0	0
釣	沿	岸	か	1	0	0	0	0	0
	沿	岸	か	1	1	0	0	0	0
釣	遠	洋	い	1	2	0	0	0	0
	遠	洋	い	1	3	0	0	0	0
釣	近	海	い	1	4	0	0	0	0
	近	海	い	1	5	0	0	0	0
釣	沿	岸	い	1	6	0	0	0	1
	沿	岸	い	1	7	0	0	0	1
釣	さ	き	ば	1	8	0	0	0	1
	さ	き	ば	1	9	0	0	0	1
釣	ひ	き	縄	1	0	0	0	0	1
	ひ	き	縄	1	1	0	0	0	1
小	そ	の	他	1	2	0	0	0	0
	そ	の	他	1	3	0	0	0	0
潜	水	器	捕	1	4	0	0	0	0
	水	器	捕	1	5	0	0	0	0
採	採	採	採	1	6	0	0	0	0
	採	採	採	1	7	0	0	0	0
そ	の	他	の	1	8	0	0	0	1
	の	他	の	1	9	0	0	0	1
海	魚	類	養	1	0	0	0	0	0
	魚	類	養	1	1	0	0	0	0
面	養	殖	養	1	2	0	0	0	1
	養	殖	養	1	3	0	0	0	1
養	殖	殖	殖	1	4	0	0	0	1
	殖	殖	殖	1	5	0	0	0	1
殖	ほ	た	て	1	6	0	0	0	0
	ほ	た	て	1	7	0	0	0	0
(種	か	き	類	1	8	0	0	0	0
	か	き	類	1	9	0	0	0	0
苗	そ	の	他	1	0	0	0	0	0
	そ	の	他	1	1	0	0	0	0
養	く	る	ま	1	2	0	0	0	1
	く	る	ま	1	3	0	0	0	1
殖	ほ	や	類	1	4	0	0	0	0
	ほ	や	類	1	5	0	0	0	0
を	そ	の	他	1	6	0	0	0	0
	そ	の	他	1	7	0	0	0	0
含	こ	ん	ぶ	1	8	0	0	0	0
	こ	ん	ぶ	1	9	0	0	0	0
む	わ	か	め	1	0	0	0	0	0
	わ	か	め	1	1	0	0	0	0
の	そ	の	他	1	2	0	0	0	0
	そ	の	他	1	3	0	0	0	0
の	真	珠	母	1	4	0	0	0	0
	真	珠	母	1	5	0	0	0	0
真	真	珠	母	1	6	0	0	0	0
	真	珠	母	1	7	0	0	0	0

活魚販売を行ったものに○印

2 過去1年間に営んだ漁業種類の
漁業制度は何ですか。

(海面養殖のみを営んでいる漁業経営体は記入の必要はありません。)

営す販の
んべ売も
だて金の
に額に
も〇〇
の印位印

大 臣 許 可 漁 業	201	0	0	1	2
知 事 許 可 漁 業	202	0	0	1	2
大 臣 承 認 漁 業	203	0	0	1	2
漁 業 権 漁 業	204	0	0	1	2
自 由 漁 業	205	0	0	1	2
そ の 他	206	0	0	1	2

3 海面養殖業について

営んでいる養殖種類についてのみ記入してください。
海面養殖業を営んでいない場合は4へ(次ページ右上)

(1) 魚類養殖の規模はどのくらいですか。

養殖施設面積 … 経営体の所有(借入を含む)する総施設面積
使用面積 … 施設面積のうち、通常使用している面積(魚類を放養しない面積を除く。)

ア 魚類養殖全体の養殖場の施設面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	301								
使用面積	302								

イ ぶり類養殖の養殖場の面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	303								
使用面積	304								

ウ まだい養殖の養殖場の面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	305								
使用面積	306								

エ ひらめ養殖の養殖場の面積はいくらですか。(m²)

養殖場の施設面積	307								
うち、陸上水槽の面積	308								
使用面積	309								

(2) ほたてがい養殖の養成員数はいくらかですか。
(養殖しても1千貝に満たないものは1と記入してください。)

ア 採苗から 1年未満のもの (千貝)
3 2 1

イ 採苗から 1年以上、2年未満のもの (千貝)
3 2 2

ウ 採苗から 2年以上のもの (千貝)
3 2 3

(3) かき類養殖の規模はどのくらいですか。
(ア～ウのうち、該当する養殖方法だけ記入してください。)

ア いかだ垂下式、簡易垂下式の場合 (台)
台数は ----- 3 3 1

1台の平均面積は ----- (m²)
3 3 2

イ はえ縄式の場合 (m)
幹縄の長さは ----- 3 3 3

幹縄とは、海面に水平に張って垂下連を支える縄(ロープ)をいいます。

ウ 地まき式、そだひび式の場合 (m²)
養殖場の面積は 3 3 4

(4) わかめ類養殖の規模はどのくらいですか。
(ア、イの両方に必ず記入してください。)

ア 幹縄の長さ ----- 3 4 1

幹縄とは、海面又は海中に水平に張って枝縄や親縄を支える縄(ロープ)をいいます。

イ 種糸を巻き付けたりはさみ込んだりした縄の長さ (m)
3 4 2

(5) のり類養殖の規模はどのくらいですか。
養殖施設の面積には潮通し、船通しは含めません。
面積は、真上からみた養殖施設の面積とし、何枚重ね張りしても1枚の網ひびの面積としてください。

養殖施設の面積 (m²)
3 5 1

(どちらか一方に記入し、両方には記入しません。)

面積を表す単位の名称は何ですか。
(例 柵、小間、間など)

この単位で数えた施設はいくつですか。
3 5 2

この単位の1単位を平方メートルに換算した面積はどのくらいですか。(m²)
3 5 3

(6) 真珠養殖の規模はどのくらいですか。(台)

いかだ台数 ----- 3 6 1

(籠 100つりを1台としてください。)

(7) 真珠母貝養殖の規模はどのくらいですか。(台)

いかだ台数 ----- 3 7 1

(籠 100つりを1台としてください。)

4 漁業の従事者数について (経営主又はその家族が漁業に従事している場合は、その数も含めてください。)

(1) 11月1日現在の漁業の海上作業の従事者数は何人ですか。(人)

計	401				
生活本拠地					
同 一 市 町 村	404				
そ の 他 の 県 内	405				
県 外	406				
う ち 、 外 国 人	407				

(2) 過去1年間に「漁業の海上作業に従事した人」が最も多かった時期の人数は何人ですか。(人)

計	411				
男	414				
女	415				

(3) 過去1年間に「漁業の陸上作業のみに従事した人」が最も多かった時期の人数は何人ですか。(人)

計	421				
男	424				
女	425				

5 過去1年間の漁業従事日数について

(1) 過去1年間に陸上作業も含め漁業に従事した日数は何日ですか。

(365日を超えない経営体としての実日数で記入してください。)(日)

431 0

(2) 上記のうち、海上作業に従事した日数は何日ですか。(日)

432 0

6 過去1年間の漁獲物の販売金額について

(長期遠洋航海等で漁獲物はあったものの、まだ販売していない場合は、販売金額は「0」と記入してください。また、販売金額が1万円に満たないものは「1」と記入してください。)

(1) 経営体の総販売金額はいくらですか。

百 十 千 百 十 (円)
億 億 億 万 万 万 万
441

(2) 上記のうち、海面養殖の販売金額はいくらですか。

百 十 千 百 十 (円)
億 億 億 万 万 万 万
442

7 過去1年間の漁獲物の出荷先について

		漁協以外の卸売市場又は荷さばき所	漁協以外の卸売市場	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	その他の
(出荷先すべてに○印)	451	1	2	3	4	5	6	7	8

(主なもの(出荷額の多いもの)一つに○印)

452 0 0 0 1 2 3 4 5 6 7 8

[Ⅱ] 漁船について

過去1年間に漁船を使用して操業しましたか。――→ 漁船を使用していない方は6ページへ

漁船を使用した方は1へ

- 1 使用した漁船の種類は何ですか。
(借りて使用した場合も含めます。)
- 2 過去1年間に使用した無動力船、船外機付船のうち、
11月1日現在保有している漁船は何隻ですか。
(借りて使用している船も含めます。)

(1 台の船外機を複数の無動力船に付けて使用した場合は、
1 隻を船外機付船とし、他は無動力船としてください。)

(使用したものすべてに○印を記入してください。)

	動力船	船外機付船	無動力船
5 0 1 0	1	2	3

→ 無 動 力 船

5	0	2	0	0	
---	---	---	---	---	--

(隻)

→ 船 外 機 付 船

5	0	3	0	0	
---	---	---	---	---	--

(隻)

3 動力船について (動力船のみ記入し、無動力船、船外機付船は記入しないでください。)

(1) 過去1年間に使用した動力船について記入してください。					(2) 11 月 1 日 現 在		
漁 船 名 (1 漁船名は左からつめて 1マスに1字ずつ記入し てください。 2 16隻以上動力船を使用 した場合は補助票に記入 してください。)	漁 船 番 号	ト ン 数 (小数点以下2位 まで記入してくだ さい。)	新 受 ト ン 数 の 適 用 を ○ 印	11月1日 現在の保有 の有無	主機関の 馬 力 数 (漁船法登録馬力) 農 林 馬 力 数	新 受 馬 力 数 の 適 用 を ○ 印	竣 工 し た 年
				保有している 保有していない			
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
無動力船、船外機付船は記入 しないでください。		小数点 (トン)		いずれかに ○ 印			(年)
	601		1	1 2		1	
	602		1	1 2		1	
	603		1	1 2		1	
	604		1	1 2		1	
	605		1	1 2		1	
	606		1	1 2		1	
	607		1	1 2		1	
	608		1	1 2		1	
	609		1	1 2		1	
	610		1	1 2		1	
	611		1	1 2		1	
	612		1	1 2		1	
	613		1	1 2		1	
	614		1	1 2		1	
	615		1	1 2		1	

のりしろ

(2に○印が付いた場合、
⑥以降については記入の
必要はありません。)

漁 船 —— 経営体が所有又は借りている船のうち、過去1年間に自己の漁業生産に使用した主船及び付属船（火船、魚探船、運搬船等）について記入してください。

ただし、漁船登録を受けていても直接漁業に使用しなかった船（遊漁のみに使用、買い付け用運搬船等）は除いてください。

新トン数の適用を受けた船 —— 昭和57年7月18日以降に建造した船及び特定修繕（総トン数に変更を生ずる修繕）を行った船がすべて該当します。

農林馬力数 —— 漁船法により規定されている漁船登録に用いられる馬力数です。

新馬力数の適用を受けた船 —— 平成14年4月以降に、新たに推進機関を搭載した船が該当します。

単一操業 —— 操業した漁業種類が1種類の場合

複数操業 —— 操業した漁業種類が2種類以上の場合

出漁日数の数え方 —— 漁場までの往復の日数と漁場における操業日数を合計した日数です。

日帰り操業は1日のうちに2回以上操業しても1日と数えます。

1航海が1夜の場合（夕方出航し、翌朝入港した場合）は1日とします。

2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までを通算した日数とします。

販売金額1位の漁業種類 —— 漁業種類番号及び主な操業種類については、漁船ごとに、操業した漁業について「漁業種類の地方名称と制度区分一覧表」を参考にして記入してください。

経営体が保有しているすべての動力船について記入してください。

漁 利 用 状 況 の 況		過 去 1 年 間 の 出 漁 日 数	販 売 金 額 1 位 の 漁 業 種 類 に つ い て											
			全 国 漁 業 種 類 番 号 を 記 入 し て く だ さ い	乗 組 員 数 に つ い て						女 子	外 国 人			
				男 子										
				15 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 歳 以 上					
⑨	⑩	⑪	⑫											
いずれかに ○ 印	(日)		(人)											
1 2														
1 2														
1 2														
1 2														
1 2														
1 2														
1 2														
1 2														
1 2														
1 2														
1 2														
1 2														
1 2														
1 2														
1 2														
1 2														

[Ⅲ]会社について

1 ページの経営組織が「会社」の場合に記入します。

1 本社・事業所の区分及び会社の種類の該当するものに○印を記入してください。

本社・事業所の区分		会社の種類 (いずれかに○印してください)			
本社	事業所	株式	合資	合名	有限
801	0 0	1	2	3	4

2 11月1日現在の従業員数について

(1) 漁業以外の仕事に従事した人も含めたすべての従業員数を記入してください。
(本社の場合は、事業所を含めた従業員数ではなく、本社だけの従業員数を記入してください。)

802				
-----	--	--	--	--

以下、このページの点線枠で囲まれた項目は**本社のみ**記入する項目です。「1 本社・事業所の区分」で**本社に○印が付いた場合のみ**記入してください。
また、記入に当たっては、本社及び事業所を含めた**会社全体**について記入してください。

(点線枠内は本社のみ記入してください)

(2) 事業所も含めた会社全体の従業員数を記入してください。

計	803								
常 雇	804								
臨時雇・日雇	805								

3 資本金について該当するものに○印を記入してください。

(株式会社については払込み済資本金に、合資、合名、有限会社については出資金の金額に○印を記入してください。)

100万円未満	100万円	200万円	500万円	1,000万円	3,000万円	5,000万円	1億円	10億円以上
806	1	2	3	4	5	6	7	8 9

(点線枠内は本社のみ記入してください)

4 漁業の専業・兼業について

(1) 過去1年間に営んだ事業が、漁業のみの場合は「専業」に、漁業以外の事業も営んだ場合は「兼業」に○印を記入してください。

				専業	兼業
807	0	0	0	1	2

「5 子会社について」へ

(2) 過去1年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について該当するものに○印を記入してください。

25%未満	25%～50%	50%～75%	75%以上
808	0 0 0	1	2 3 4

(3) 過去1年間に漁業以外に営んだ事業に○印を記入してください。また、経営体が持つ事業所の数を主に営んだ事業別に記入してください。

		営んだものすべてに○印	販売金額一位	のものに○印	事業所の数
製造業	水産加工業	811	1	2	
	そ の 他	812	1	2	
卸売・小売業、飲食業		813	1	2	
サ ー ビ ス 業		814	1	2	
その他	冷蔵倉庫業	815	1	2	
	そ の 他	816	1	2	

(4) 自社用の冷凍・冷蔵工場数を記入してください。
(寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数を記入してください。)

817	0	0	
-----	---	---	--

5 子会社について

事業別に子会社の数を記入してください。

				子会社の数
漁 業		821	0 0	
製造業	水産加工業	822	0 0	
	そ の 他	823	0 0	
卸売・小売業、飲食業		824	0 0	
サ ー ビ ス 業		825	0 0	
その他	冷蔵倉庫業	826	0 0	
	そ の 他	827	0 0	

〔Ⅳ〕 地方選定漁業種類について

地方選定漁業種類に該当がある場合に記入してください。

[illegible]